

「PB マングローブの森」

定期報告 2024 年 8 月



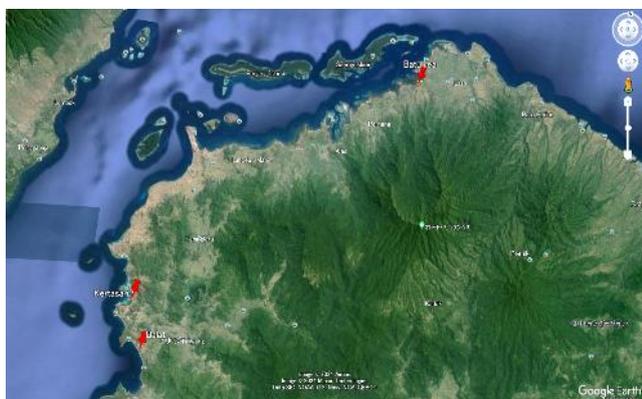
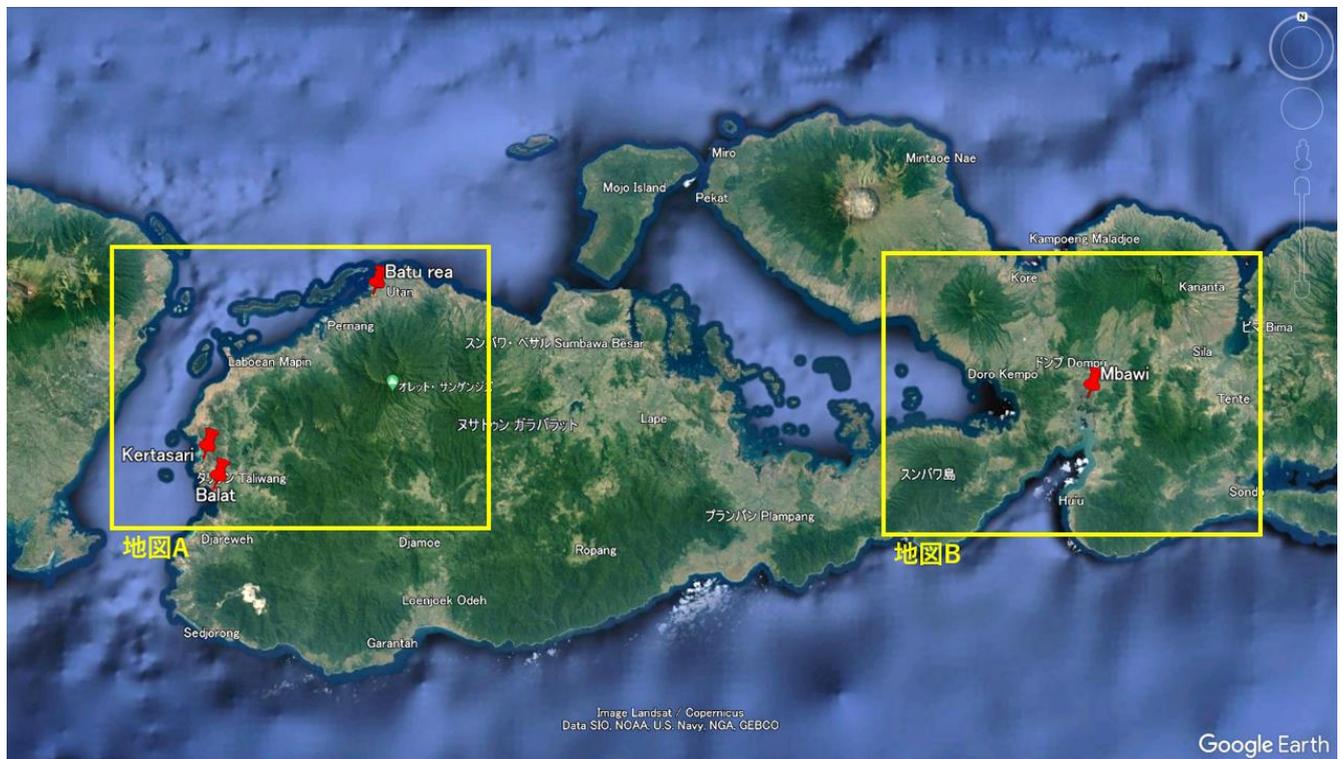
2024 年 08 月（第 5 回目報告）

ワイエルフォレスト株式会社

報告書

タイトル	「PB マングローブの森」 定期報告 2024 年 8 月
報告書提出日	2024 年 8 月 23 日 (金)
場所	Batu rea : 西ヌサ・テンガラ州 スンバワ県 ウタン郡 <u>バトゥレア村</u> Desa <u>Batu rea</u> , Kec. Utan, Kab. Sumbawa, Pro. Nusa Tenggara Barat
	Balat : 西ヌサ・テンガラ州 西スンバワ県 タリワン郡 <u>バラット村</u> Desa <u>Balat</u> , Kec.Taliwang, Kab. Sumbawa Barat, Pro. Nusa Tenggara Barat
	Kertasari : 西ヌサ・テンガラ州 西スンバワ県 タリワン郡 <u>クルタサリ村</u> Desa <u>Kertasari</u> , Kec.Taliwang, Kab. Sumbawa Barat, Pro. Nusa Tenggara Barat
	Mbawi : 西ヌサ・テンガラ州 ドンプ県 ドンプ郡 <u>ンバウィ村</u> Desa Mbawi, Kec.Dompu, Kab. Dompu, Pro. Nusa Tenggara Barat

各植林地の位置(Batu rea, Balat, Kertasari, Mbawi)



地図 A



地図 B

・座標（赤ピンの位置）

Batu Rea : 8° 25` 15.78` S 117° 5` 44.74` E

Balat : 8° 46` 15.60` S 116° 48` 16.45` E

Kertasari : 8° 43` 00.09` S 116° 47` 07.68` E

Mbawi : 8° 35` 44.71` S 118° 24` 49.47` E

・植林済および造成予定面積

Batu rea 村 : 8.09ha Balat 村 : 3.18ha Kertasari 村 : 6.34ha Mbawi 村 : 10.24ha

合計 : **27.85ha**

バトゥレア村 (Batu Rea)



・面積

総面積：8.09ha

植林済面積：8.09ha

造成済もしくは造成中の面積（赤線）：7.70ha

・管理人：Iksam（イクサム）氏

Batu Rea 村では、2022 年 7 月から土地整備を開始、2022 年 8 月からマングローブの植林を開始しており、現在 1 番池から 21 番池の 8.09ha にて植林が完了し、Batu Rea 村「PB マングローブの森」での植林が完了致しました。2024 年 3 月に、14 番池、15 番池、16 番池、19 番池、20 番池、21 番池にて植林を先に行っています。土地造成の施工期間には 6 カ月程かかりますが、土地造成が完了してから植林を行うよりも、3 月には品質の良いマングローブの種子がある時期ですので、それらの種子のタイミングを逃さないよう、先に植林を行っています。活着率は、2022 年 8 月に植林したマングローブは 80%程度、2023 年 2 月に植林を行ったマングローブは 40%程度、2023 年 6 月に植林を行ったマングローブは 80%程度と順調に成長しています。また、2023 年 9 月から 11 月にかけて、5 番池、7 番池、8 番池、9 番池、11 番池、12 番池、13 番池にて補植を行っておりこれらのマングローブは現状で 80%程度が順調に成長を続けています。前年では、エルニーニョ現象の影響により、西ヌサ・テンガラ州では全域でほとんど雨が降らずに、通常 1 本のマングローブの木から 20~30 本程の種子が採取できるどころ、5 本程度しか採取することができず、弊社スタッフ一同懸命に種子の確保に努めましたが、補植用の種子まで準備することが叶いませんでした。しかしながら、エルニーニョ現象が 2024 年 6 月に終息を迎えたため、2024 年 9 月以降に、再びマングローブの種子のベストシーズンを迎え、品質の良い種子を採取することが期待できます。

前回定期報告書にて報告致しました 19 番池、20 番池、21 番池の植林につきましては 2024 年 3 月に完了しました。また、2024 年 8 月時点で 14 番池、15 番池、16 番池の池造成が完了し、現在 19 番池及び 21 番池の造成を行っています。完了目途は 2024 年 9 月下旬~10 月初旬となっています。19 番池及び 21 番池の造成が完了次第、20 番池の造成を開始する予定です。20 番池の造成開始予定時期につきまして、開始できる時期が雨期となっており、作業に時間がかかる、もしくは雨期が終わる翌年 4 月以降となる可能性

がございます。

バトゥレア村 1番池～4番池(0.98ha)

最初に植林を行った1番～4番池では植林を2022年8月16日から行っており、2024年8月現在で2年程が経過しました。2022年8月に植林したマングローブは順調に成長しており、健康的で十分な大きさの葉っぱを多くつけており、多くのマングローブは既に支柱根を生やしているマングローブもありました。

また2024年2月に1番池及び2番池の下草の除草作業を行いました。2番池の除草は効果があり、順調にマングローブのみ成長しております。一方で1番池では下草が急激に成長しておりわずか5カ月ほどでマングローブを覆うほどに再度成長してしまいました。下草がマングローブを覆うほどに成長してしまうと、マングローブが成長するために行う光合成ができずに成長を阻害してしまう可能性があるため、マングローブの背丈が下草よりも高くなるまでは、下草の除草作業を行うことで対策する予定です。



1番池



1番池



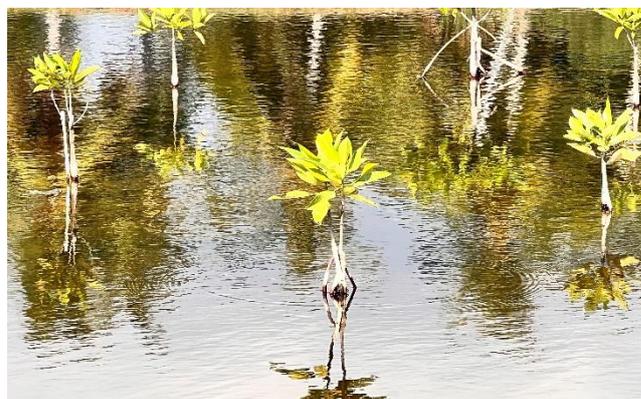
2番池



2番池



2番池



2番池



3 番池



3 番池



3 番池



3 番池



4 番池



4 番池



4 番池



4 番池

バトゥレア村 5番池(0.24ha)

2023年2月に植林を行っており、2024年8月現在で1年6カ月程が経過しています。マングローブは順調に成長し、多くの葉をつけています。半数ほどのマングローブに支柱根が生えていることが確認できました。



バトゥレア村 6番池(0.15ha)

2022年11月に植林を行っており、2024年8月現在で1年9カ月程が経過しています。マングローブは順調に成長し、多くの葉をつけています。支柱根を生やしているマングローブも確認できており、多いもので7~8本の支柱根を生やしているマングローブも確認できました。





バトゥレア村 7番池(0.54ha)

2022年11月に植林を行っており、2024年8月現在で1年9カ月程経過し、多くの葉をつけており、支柱根を生やしているマングローブも確認することができました。



バトゥレア村 8番池(0.25ha)

2023年11月に補植を行っており、2024年8月時点で9カ月程が経過しています。前回報告いたしました2024年2月から半年程が経過していますが、非常に良好な状態を保ったまま順調に成長を続けています。引き続きイクサム氏による徹底した水位管理及び経過観察を行います。



バトゥレア村 9番池(0.24ha)

2022年11月に植林を行っており、2024年8月現在で1年9カ月程が経過しています。9番池では2023年2月と11月の計2回補植を行っております。3回マングローブを植えていますがどの時期に植えたマングローブも順調に成長を続けています。また2022年11月に植林したマングローブには支柱根が生えていることも確認でき、2023年9月に植林したマングローブも前回報告書ではまだ2~4枚程の葉の数でしたが、2024年8月時点では既に多くの葉をつけていることも確認できました。





バトゥレア村 10番池(0.34ha)

2022年11月に植林を行っており、2024年8月現在で1年9カ月程が経過しています。10番池のマングローブにつきましても順調に成長を続けており、多くの葉をつけ支柱根を生やしているマングローブも確認できました。



バトゥレア村 11 番池(0.28ha)

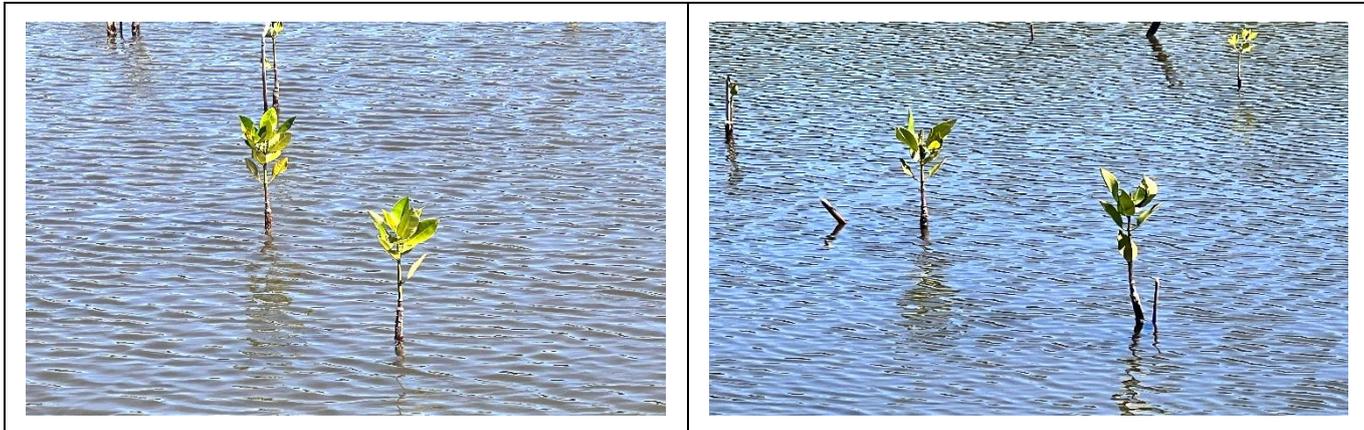
2023年9月に2度目の補植を行っており、2024年8月現在で11カ月程が経過しています。11番池では最初の植林及び補植1回目ではどちらも活着せず枯死しましたが、イクサム氏と住民の方々によって2023年9月に再植林が行われ現在まで順調に成長を続けており、多くの葉をつけています。



バトゥレア村 12 番池(0.38ha)

2022年11月に植林しましたが全てのマングローブが枯死してしまい、2023年2月に再植林、11月に補植を行っており、2024年8月現在で1年6カ月程が経過しています。2023年2月以降に植えられたマングローブはどれも順調に成長を続けており、支柱根を生やしているマングローブも確認することができました。





バトゥレア村 13番池(0.25ha)

2022年11月に植林を行っており、2024年8月現在で1年9カ月程経過し、現在も成長を続けております。また13番池でも2023年2月と12月の計2回補植を行っており、前回報告書ではまだ双葉のマングローブが多かったのですが、半年経過した2024年8月には10枚以上の葉をつけているマングローブが多く確認でき、2023年2月に補植しましたマングローブには支柱根が生えているのも確認できました。



バトゥレア村 14 番池(0.54ha)

2024年3月に植林を行っており、2024年8月現在で5カ月程が経過しており、順調に成長を続け、4~6枚の葉をつけています。まだまだ成長段階のため、写真撮影が少々難しいところもございますが、次回報告書をお渡しする際には、大きく成長していることが期待できます。



バトゥレア村 15 番池(0.44ha)

2024年3月に植林を行っており、2024年8月現在で5カ月程が経過しており、15番池では14番池に比べてマングローブがつけている葉の数がやや多く感じますが、種子に個体差が生じるため初期段階では差があるように見えても、成長していくにつれ差は無くなっていくと思われます。15番池のマングローブは4~8枚程の葉をつけており、順調に成長を続けています。





バトゥレア村 16番池(0.46ha)

2024年3月に植林を行っており、2024年8月現在で5カ月程が経過しています。16番池の mangrove も順調に成長を続けており、葉を4~8枚程つけています。



バトゥレア村 17番池(0.87ha)

2023年6月に植林を行い2024年8月現在で1年2カ月程経過し、現在まで順調に成長を続けており多くの葉をつけています。一部のマングローブが枯死してしまいましたので、2024年9月以降マングローブの種子を採取でき次第随時補植を行います。



バトゥレア村 18番池(0.54ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程経過しています。17番池及び18番池を撮影したタイミングが満潮時のため、ややマングローブが確認しにくくなっておりますが、植林したマングローブは多くの葉をつけており、順調に成長しています。





バトゥレア村 19 番池、20 番池、21 番池

2024 年 3 月に植林を行っており、2024 年 8 月現在で 5 カ月程経過しています。植林を行いましたマングローブは順調に成長を続けています。一方で枯死したマングローブも存在しているため、補植を行う予定です。現在 19 番池及び 21 番池の造成をイクサム氏及び住民の方々によって手作業で土地の造成を行っています。19 番池及び 21 番池の造成が完了次第 20 番池の土地造成へと移行する予定ですが、現在の作業の完了予定が 9 月下旬から 10 月初旬となっており、雨期が始まっている可能性がございます。また、併せて農業を営んでいる住民の方々もいらっしゃるため、作業人員確保が難しくなることも考えられるので、先に 19 番池及び 21 番池の補植を行い、それでも人員が集まらない場合には翌年の 4 月頃を目途に 20 番池の造成を開始することも検討しています。



14 番池、15 番池、16 番池の造成について

イクサム氏及び住民の方々の手作業による造成方法をご紹介します。



写真：1

あぜ道から植林スペースとなる盛り土までの距離を正確に測定し、マングローブの管理と養殖業の2つの作業の中で最も適した幅となる養殖スペースを作成するために、ロープを設置しそれに沿って掘削を行っています。



写真：2

同様にあぜ道側でも最適な距離を確保するためにロープを設置し、それに沿って調整を行っています。また、掘削した土は基本的にあぜ道の補強、かさ上げに使用します。



写真：3

写真内の黄色棒線は先ほど「写真：1」で示しましたロープを、写真内の赤色棒線は盛り土の土壌がロープよりも内側にある場所を示しています。「写真：3」のように、植林スペースとなる盛り土の土壌がロープの位置に達していない場合、最適な距離を確保することができなくなるため、養殖スペースである植林地内水路から掘削した土をあぜ道には使用せず、盛り土の隙間を埋めるために使用し、最適な距離を確保することが可能となります。



写真：4

養殖スペースの掘削作業を行っており、掘削するエリア内に自然に成長したマングローブがあり、弊社のマングローブを切らないという方針の元、伐採せずに植林したマングローブと同様に管理を行います。

バラット村 (Balat)



・ 総面積：3.18ha

・ 所有者/管理者： Eng(エン)氏

Balat 村では、2023 年 2 月から土地整備を開始、2023 年 3 月からマングローブの植林を開始しており、現在 1 番池、2 番池、3 番池、4 番池の 3.18ha にて植林が完了しております。活着率は 2023 年 3 月に植林を行ったマングローブは 60%程となっております。

Balat 村では 2 番池、3 番池、4 番池の補植を行う際に、マングローブの種子の直植えでは成長が難しいことが予想されたため、マングローブの苗木を使用して補植を行う予定としていましたが、エルニーニョ現象の影響で採集した種子の品質が悪く、苗木を十分に育成できなかったため、まだ Balat 村での補植を行えておりません。2024 年 9 月以降に種子のベストシーズンを迎え品質が良い種子が入手でき次第、再度苗木の育成を行い、苗木の準備が整いましたら、それらの苗木を使用して補植を行います。

バラット村 1番池(0.65ha)

2023年2月に植林を行っており、2024年8月現在1年6カ月程が経過し、順調に成長を続け多くの葉をつけており、支柱根を生やし始めたマングローブも確認することができました。



バラット村 2番池(1.13ha)

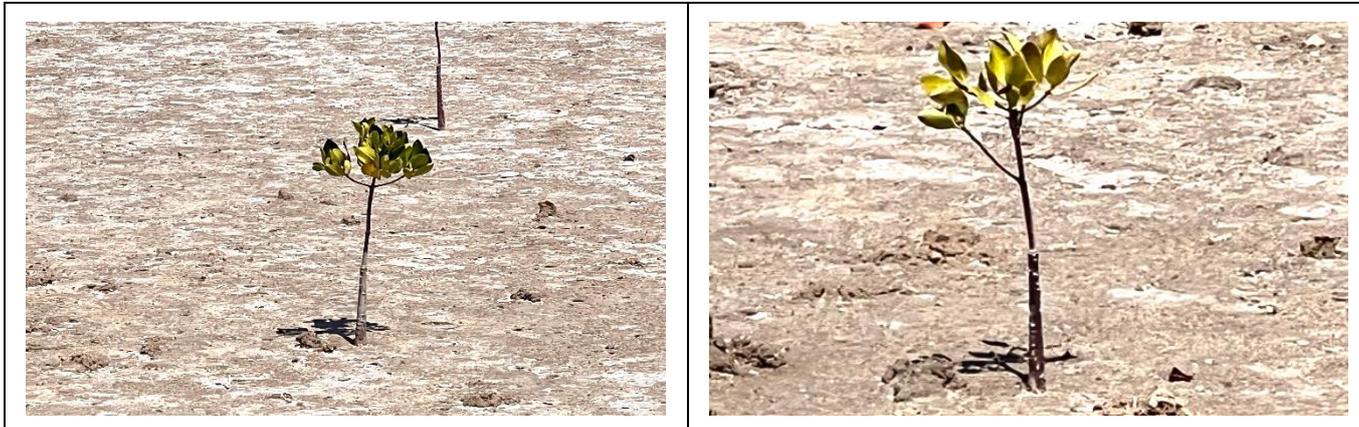
2023年2月に植林を行っており、2024年8月現在で1年6カ月程が経過しています。2番池のマングローブも順調に成長を続けており、多くの葉を付け、支柱根も生やし始めているマングローブを確認することができました。一部枯死しているマングローブも見られ、その原因は雨が全く降らずに、現在水位調整が難しくなっており、水位が植林スペースである盛り土まで達することがほとんどできていないためです。雨期になり雨が降り始めると盛り土まで水位が上がるため、そのタイミングでマングローブの苗木を使用して補植を行う予定です。



バラット村 3番池(1.10ha)

2023年2月に植林を行っており、2024年8月現在で1年6カ月程が経過しています。3番池についても、2番池と同じく、水位調整が難しくなっているため、一部枯死しているマングローブも確認しているため、雨期に入りマングローブの種子の品質が良いタイミングで採取した種子を苗木まで成長させ、苗木を使用して補植を行う予定です。





バラット村 4番池(0.30ha)

2023年2月に植林を行っており、2024年8月現在で1年6カ月程が経過しています。

4番池は、2番池3番池と比較しても特に水不足が深刻で、植林盛り土スペースの周りに掘り下げた水路においても水が貯まらない状況となっています。下の写真はその水路の様子ですが、水を供給するパイプが露呈するほどに水が干上がってしまっています。水不足の原因はエルニーニョによる降雨の減少ですので、エルニーニョが終わった今年の降雨の状況を見ながら、引き続き管理者であるエン氏と対策案の検討を行います。



クルタサリ村 (Kertasari)



- ・ 造成完了面積（赤線）：6.34ha
- ・ 管理者：Arifin(アリフィン)氏（漁民グループ長）



1 番～10 番池



11 番～14 番池

Kertasari 村では、2023 年 5 月から土地整備を開始、2023 年 6 月からマングローブの植林を開始しており、現在 1 番池、2 番池、3 番池、4 番池、5 番池、6 番池、7 番池、8 番池、9 番池、10 番池、11 番池、12 番池、13 番池、14 番池の 6.34ha にて植林が完了しております。2023 年 10 月から 11 月と 2024 年 5 月の計 2 回各植林地にて補植を行っており、全体での活着率は 70%程となっています。

Kertasari 村では 2023 年度の雨期（従来 10 月～3 月頃）に、エルニーニョ現象による影響で全く雨が降っていませんでしたが、雨が降らない過酷な状況下でもアリフィン氏の管理努力のお陰で、多くのマングローブが 2024 年 8 月現在でも順調に成長を続けています。また 2024 年 5 月に再度補植を行っており、それらのマングローブも順調に成長を続けています。

9 番池、13 番池での活着率が悪いため、再度 9 月以降にマングローブの種子のベストシーズンを迎え、品質が良い種子を採取できたタイミングでこれまでに行いました補植と同じく苗木を育成し、苗木の準備が整いましたら再度補植を行います。

クルタサリ村 1番池(0.41ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また補植を2023年10月と2024年5月に行っています。1番池のマングローブは成長が良く、多くの葉をつけており、2023年6月に植林したマングローブの中には支柱根を生やしているマングローブも確認することができました。活着率は現在で95%程と非常に良好な状態となっております。



クルタサリ村 2番池(0.56ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また補植を2023年10月と2024年5月に行っています。2番池のマングローブも既に葉を付けているマングローブが確認できました。活着率は1番池同様に現在で90%程となっております。





クルタサリ村 3番池(0.41ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また2023年10月と2024年5月に補植を行ってあります。前回報告書では活着率50%程となっていました。2024年5月に補植を行い、2024年8月現在で80%程の活着率と非常に良好な状態となっています。



クルタサリ村 4番池(0.13ha)

4番池ではエルニーニョ現象により十分に水位が上がらず、土壌が柔らかくならないため、なかなか植林を行うことができずにいます。2024年9月以降の雨期によって雨が降り土壌が柔らかくなりましたら植林を開始する予定です。またその際にマングローブの苗木を使用し、水位が比較的低い場所で十分に水分を補給できるように地中根が成長したタイミングで植林を行います。

クルタサリ村 5番池(0.46ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また、2023年10月と2024年5月にマングローブの苗木を使用して補植を行っております。植林しましたマングローブは順調に成長を続け、多くの葉をつけており、支柱根を生やしているマングローブも確認することができました。また、2024年5月に補植を行った際に使用しました苗木も問題なく順調に成長を続けています。2024年8月現在の活着率は95%以上となっており、非常に良好な状態となっております。



クルタサリ村 6番池(0.95ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また2023年10月と2024年5月にマングローブの苗木を使用して補植を行っております。植林しましたマングローブは現在まで順調に成長を続け、多くの葉をつけています。また2023年6月に植林しましたマングローブのほとんどに既に支柱根が生えていることが確認できました。2024年8月現在の活着率は95%以上となっており、6番池もその他の池と同様に問題なく順調に成長しています。



クルタサリ村 7番池(0.53ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また2023年11月と2024年5月に補植を行いました。2023年に補植を行いましたマングローブの活着率がその他の植林地と比べて少々活着率が悪かったのですが、2024年5月に再度補植を行いましたマングローブのほぼ全てが無事活着し成長を続けています。

現在7番池の50%の面積にて補植を行っており、残りの50%は2024年9月以降、マングローブの種子がベストシーズンを迎え種子の品質が良い時期に採取したものを苗木まで成長させ、準備が整い次第補植を行います。



クルタサリ村 8番池(0.19ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また2023年11月と2023年5月に補植を行っており、現在も順調に成長しており、多くの葉をつけています。

2024年8月現在の活着率は85%程となっており、8番池も非常に良好な状態となっています。





クルタサリ村 9番池(0.67ha)

2023年11月に植林を行いました。また、2024年5月にマングローブの苗木を使用して補植を行いましたが、エルニーニョ現象の影響により雨が降らず水位があまり上がらない為、マングローブの苗木まで海水が到達できずに枯死してしまいました。2024年9月以降、雨期に入り本格的に雨が降り始めましたら再度補植を行う予定です。苗木につきましては、2024年8月現在2番池内の一角で苗床を作成しており、順調に成長しています。



2番池で育成中の苗床



2番池で育成中の苗床

クルタサリ村 10番池(0.57ha)

2023年6月に植林を行いました。ほとんどのマングローブが枯死したため、2023年11月に再植林を行っています。更に2024年5月に追加で補植を行っています。

2023年11月の再植林を行う前にあぜ道とパイプ設置の修復工事を行っており、2023年11月と2024年5月に植えましたマングローブは順調に成長を続け、多くの葉をつけています。10番池についても少々水位が低く、植林スペースである盛り土まで水が到達できないことが可能性としてあるため、9月以降の雨期に入り本格的に雨が降り始めましたら、9番池と同時期に補植を行う予定です。2024年8月現在の活着率は70%程となっています。



クルタサリ村 11番池(0.35ha)

2023年6月に植林を行っており、2024年8月現在で1年2カ月程が経過しています。また、2023年11月と2024年5月に補植を行っています。11番池のマングローブは現在まで順調に成長を続け、葉を10～20枚程つけています。11番池も9番池と同じく隣接する植林地とパイプを経由して取水しているため、水位の調整がやや難しくなっていますが、11番池の土地が低いので比較的取水が容易です。2024年8月現在で活着率は70%程となっています。





クルタサリ村 12 番池(0.54ha)

12 番池では植林は未実施です。12 番池でもなかなか水位が上がらずに盛り土まで海水がほとんど到達できず、土壌が柔らかくならないため、9 月以降に雨期に入り本格的に雨が降り始める前に、植林スペースである盛り土全体に海水が行き渡るように供給用の小さい溝を作成することを検討しています。



12 番池全体図



12 番池全体図

クルタサリ村 13 番池(0.28ha)

2023 年 6 月に植林を行っており、また 2023 年 11 月と 2024 年 5 月に補植を行いました。植林を行ったマングローブは順調に成長を続け、葉を 4~8 枚程つけています。

補植を行いましたマングローブの半数が枯死してしまいましたので、2024 年 9 月以降にマングローブの種子がベストシーズンを迎え、種子の品質が良い時期に採取した種子を苗木に成長させ、再度それらの苗木を使用して補植を行います。また、2024 年 5 月に補植を行いましたが、種子のシーズンではなかったため十分な数の種子を確保できず苗木の数が足りずに 40%程の面積にしか補植を行っておりませんので、次回の補植では優先的に 13 番池へと補植を行う予定です。



クルタサリ村 14 番池(0.27ha)

2023 年 6 月に植林を行っており、2024 年 8 月現在で 1 年 2 カ月程が経過しています。また 2023 年 11 月と 2024 年 5 月に補植を行っています。14 番池のマングローブは順調に成長を続け、多くの葉をつけています。前回報告書ではほぼ全てのマングローブが枯死してしまったと報告しましたが、その後 2024 年の 5 月に再度補植を行った後、水位管理を徹底した結果、2024 年 8 月現在の活着率は 70%程と良好な状態になりました。



14 番池全体図



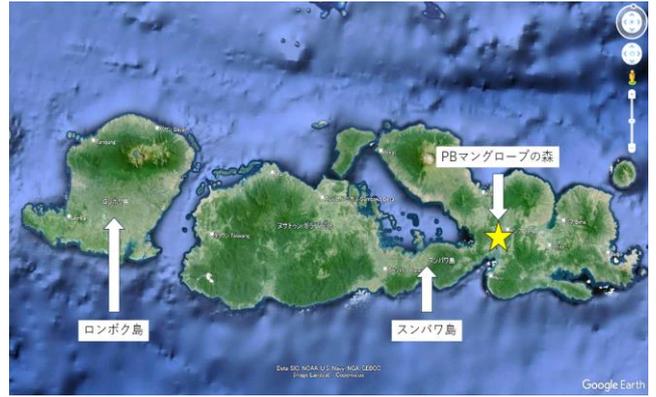
14 番池全体図



ドンブ県ンバウィ村 (Mbawi)



赤枠で囲んである場所が西ヌサ・テンガラ州です。



西ヌサ・テンガラ州には大きく分けて、ロンボク島とスンバワ島の二つの島があります。



スンバワ島は4つの県と1つの市から成り立っています。その中の1つにドンブ県があります。



ドンブ県には8つの郡があり、その1つにドンブ郡があります。



赤枠：造成済みの植林地を示しています。

黄色枠：造成予定の植林地を示しています。

また、1 番池のみ造成及び植林が完了しています。

・植林地面積：10.24ha (造成済面積：5.78ha)

・管理者：Jul(ジュル) 氏

今回、新たに「PB マングローブの森」植林地を選定しました。8つの植林地（養殖池）があり、2024年8月までに、そのうちの1つの池は既に造成・植林まで完了しています。残り7つの植林地の内、4つの植林地が造成まで完了し、残り3つの植林地にて今後造成を予定しています。

植林まで完了しました1番池では、2024年7月10日から植林が行われました。ジュル氏の声かけの元、男女20名程が参加し学生から主婦など幅広い世代の方々に参加いただきました。

植林に苗木を使用しており、理由としまして現場の管理をお願いしているジュル氏から、ンバウィ村周辺の養殖池では多くの野生のカニや貝類が生息しており、種子のまま植林を行うとカニや貝類にエサとして食べられてしまうことがよくあり、そのためある程度育った苗木なら容易に食べられることなく種子よりも安全に成長することができる、というお話をいただきました。ジュル氏はバリ島などのマングローブ植林プロジェクトなどにも参加したことがあり、マングローブについて一通りの知識を有しているため、現場をより把握しているジュル氏の提案に沿い、ンバウィ村では常に継続して苗木の育成も行っています。

造成につきまして、ンバウィ村では村が所有もしくはレンタルしている重機があり、今回の土地造成ではその重機を使用しています。

2024年8月現在も植林地の造成が行われており、2024年3月末から順次造成を開始しており、Mbawi村「PB マングローブの森」植林地では既に1番池、2番池、3番池、4番池、5番池の合計5つの植林地で造成まで完了しています。

2番池から5番池の植林については、現在マングローブの苗木を新たに準備しておりますので、苗木の準備が整い次第随時植林を開始いたします。苗木の育成期間はおよそ3カ月となっておりますが、時期・種子の個体差など自然要因によって左右されるため、6カ月程度かかる場合もございます。

以上